

シナノドルチェ

登録番号：(出願公表番号第14586号)	峯村万貴 茂原 泉 山下裕
登録年月日：(出願公表平成14年11月1日)	之 宮澤孝幸
登録者：(出願者：長野県(長野県長野市南長野字幅下692-2))	来歴：「ゴールデンデリシャス」と「千秋」の交雑実生
育成者：小松宏光 白田 彰 羽生田 忠敬 塚原一幸 田尻勝博	育成地：長野県須坂市(長野県果樹試験場)

特性

■栽培特性

樹姿は開張、樹の大きさおよび樹勢は中である。短果枝の着生は短果枝上、えき花芽の着生は多である。葉身の形は中間、長さは中、色は濃緑、毛じの多少は少、葉柄の長さは中、太さは中である。早期結実性が高く、隔年結果性が低く、豊産性の品種といえる。育成地(長野県須坂市)における開花期は5月上旬であるが、「ふじ」や「つがる」よりやや遅い。熟期は年次変動がみられるが、概ね9月上・中旬で、「つがる」より1週間程度遅く、「千秋」より1週間程度早い。満開から収穫までの日数は135日程度で、早生品種に区分される。

■果実特性

果実は300g前後で大きく、果柄は長い。果形は長円～卵、果皮を被う色は赤～濃赤色、地色は黄緑色で、縞は明瞭である。果面のサビは側面にみられ、その程度は少である。果肉の色は黄白色で、果肉の硬さ、きめはともに中程度で、果汁が多く、蜜は入らない。甘味は中位で、糖度は屈折計示度で14～15%程度、酸味は中位で、滴定酸度(リンゴ酸換算)は0.4～0.5%である。果肉の粉質化の難易は中程度、品質保持期間は室温で2週間程度、冷蔵で1ヵ月程度である。この時期の品種としては品質保持期間は長い。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

試作の範囲では、一般的な防除のもとで、特定病虫害の大きな被害はみられなかった。主要病害のうち、斑点落葉病とうどんこ病に対する抵抗性は、「ふじ」並みと考えられる。黒星病に対しては遺伝的背景から罹病性と考えられる。心かび病については発生が認められ、その程度は中である。栽培に当たっては、主要病虫害に対して一般的な防除が必要である。

交雑和合性は「王林」、「東光」とは不和合性であるが、これら以外の「ふじ」などとは和合性で、適正な混植のもとで、結実は容易に確保できる。隔年結果性は低い。果実肥大を促進するためには摘果が必要で、着果量の目安は、3～4頂芽に1果程度とする。ジュールドロップは少ないが、収穫前落果が認められるので、落果防止剤の散布が必要である。コルクスポット、ビタービットの発生はともに少ない。収穫は熟した果実から3回程度に分けて選り収穫する。

■地域適応性

リンゴ栽培地域であれば、いずれの地域でも栽培は可能である。しかし、成熟期の気温が極端に高い場合は、着色管理の際に日焼けの発生が多く、着色も困難であることから、8月下旬から9月にかけて残暑が激しい暖地での栽培には注意が必要である。

(小松宏光)